

現代文B	報告課題第五回	年	組	氏名
解説				

【新しい地球観】

宇宙に思いを馳せるとちょっとした不安と胸が躍るようなワクワクとなんだかよくわからない不思議さが渦巻くかと思えます。今回は説明的文章でありながら、題材も相まって読み進めていくうちに楽しくなってくるものになっています。独特な言い回しや比喻表現があるため、そこには注意が必要です。

- ① 初め～四一ページ一一行
- ② 四一ページ一二行～四四ページ七行
- ③ 四四ページ八行～終わり

第一段落一思いを一つにする手掛かり

人口爆発の問題は、さまざまな問題と密接に絡んで、人類自体の生存を脅かすようになっていくが、私たちは、「宇宙船地球号」の意味を理解し「人類」という視点に立たなければならぬ。人間がこれからも生き延びるためには、私たちが「人類」として思いを一つにする必要があると考えられるが、まず国や人種の相違を超えて多くの人が感動することに目を向けなければならぬ。

第二段落一私たちの世界観・地球観におけるイノベーション

建築家の鳴川肇さんの発明した、日本発の新しい世界地図は、私たちの世界観・地球観に大きな変化をもたらすイノベーションである。メルカトル図法による世界地図は今でも広く使われているが、緯線と経線が直交していて、位置情報をつかみやすい反面、高緯度にある陸地ほど面積が拡大されるという欠点がある。だがそれは現代の私たちの目から見ると欠点に見えるだけであり、世界地図にはそれを作り出す人の持つ世界観や制作意図、考案されたときの時代背景が映り込むのである。オーサグラフ地図は、縦横に何枚も並べて数限りなくつなげられることが特徴であり、「世界に中心はなく、一つにつながっている」というとても大切なことを私たちに教えてくれる。

第三段落一世界に中心など存在しない

世界地図は知らず知らずのうちに、それを見る人の世界の見方を形作り固定化するが、宇宙から見ると、世界に中心など存在しないことがよくわかる。現在取り組んでいるプロジェクトでは、「生命のつながり」を一人一人が実感し、認識するためのツールの一つとしてオーサグラフ地図を採用しているが、この地図の示す「世界に中心はなく、一つにつながっている」というメッセージと視点の転換による感動を、人類全体の価値観にまで高めていきたい。

以上が要約と内容のポイントになります。これらを踏まえて報告課題に取り組んでいきましょう。